

他誌掲載論文等（所属については投稿時のものを掲載した。）

2016年に広島市で分離された腸管出血性大腸菌  
O157株の分子疫学的解析  
千神彩香 青田達明 栗林智早  
坂本 綾 松室信宏 石村勝之  
厚生労働科学研究費補助金(新興・再興感染症及び  
予防接種政策推進研究事業)食品由来感染症の病  
原体情報の解析及び共有化システムの構築に関す  
る研究 平成28年度総括・研究分担報告書, 112  
～116, 2017

2016年に広島市で発生した散発7事例及び広  
域食中毒1事例の患者便及び食品から分離された  
腸管出血性大腸菌 O157 12株について, パルスフ  
ィールドゲル電気泳動(PFGE)法, IS-printing  
system<sup>®</sup>(IS)法及び Multi-locus variable-  
number tandem repeat analysis(9座位)(MLVA)法  
で解析した。

今回の解析結果からは, 迅速性, 簡便性に優れ  
る IS法であるが, 解析能力がやや低いことが認め  
られ, 特に疫学調査で関連性が不明な事例間の異  
同の解釈は, MLVA法の解析結果を加えて総合的に  
判断することの必要性が認められた。

A群ロタウイルスのGおよびP遺伝子型別検出状  
況(2009/10～2015/16シーズン)-広島市  
山本美和子 則常浩太 藤井慶樹  
八島加八 松室信宏 石村勝之  
病原微生物検出情報 37(7), 138～139, 2016

2009年9月～2016年4月までに採取されたA  
群ロタウイルス陽性検体34検体についてVP4及び  
VP7遺伝子を解析した。2009/10から2011/12シ  
ーズンまでは, G1P[8]が13株, G2P[4]が2株, 2015/16  
シーズンは5株がG2P[4]であった。全国の検出状  
況(IASR)においても2015/16シーズンはG2が多い  
ことから, 全国的にG2P[4]が主流であると推測さ  
れた。

カキからのノロウイルス検出について  
山本美和子 野田 衛\* 則常浩太  
藤井慶樹 八島加八 松室信宏  
厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進  
研究事業)食品の病原ウイルスの検出法に関する  
研究 平成28年度総括・研究分担報告書, 187～  
193, 2017

2016/17シーズンに採取されたカキのノロウイ  
ルス浸淫状況及びヒトから検出された遺伝子型の  
関連性を調べた。カキからはGⅡ.17のみが検出さ  
れ, ヒトからはGⅡ.2が最も多く検出された。RdRp  
領域が解析できた2株はGⅡ.P16-GⅡ.2であり,  
ORF1-2JCT領域で組換えが起きた可能性が示唆さ  
れた。

---

\*: 国立医薬品食品衛生研究所

広島市におけるHIV/エイズ対策と近年の発生動  
向について  
藤井慶樹 則常浩太 八島加八  
山本美和子 松室信宏 濱岡利亘\*

病原微生物検出情報 37(9), 171～172, 2016  
広島市では市内各区の保健センターにおいて,  
エイズに関する相談と無料・匿名検査体制を設け  
ているほか, HIV検査普及週間や世界エイズデー  
に, 繁華街での啓発活動と併せて無料・匿名検査  
を行っている。

本市における近年の動向としては, 抗体検査受  
検者数の減少傾向が認められる中で, 約3人に1  
人がエイズ患者として報告されており, 感染して  
いても検査を受けていない人, すなわち, 潜在的  
な感染者が相当数存在しているのではないかとい  
うことが懸念される。今後, より一層の検査機会  
の周知と予防啓発活動を推進していくことが課題  
である。

---

\*: 健康福祉局保健医療課

広島市で検出されたノロウイルス GⅡ. P16-GⅡ. 2  
の遺伝学的解析

藤井慶樹 則常浩太 八島加八

山本美和子 松室信宏 石村勝之

病原微生物検出情報 38(2), 38~39, 2017

2016/17 シーズンに広島市で発生した食中毒や  
散発胃腸炎事例等から検出されたノロウイルス G  
Ⅱ. 2はGⅡ. P16-GⅡ. 2に分類されるキメラウイル  
スであった。同組み合わせのGⅡ. 2のキメラウイル  
スは過去にも検出されているが、ORF1 の RdRp  
領域のアミノ酸配列に基づく系統樹解析の結果、  
過去の検出株とは異なり、2016年に検出が報告さ  
れたGⅡ. P16-GⅡ. 4 Sydney2012のキメラウイルス  
と同一のクラスターを形成した。このことから、  
同ウイルスとの間で遺伝子組換えを起こしている  
可能性も推察された。また、P2 ドメイン領域の解  
析の結果、過去の検出株とは異なるアミノ酸変異  
も確認された。

広島市におけるヒトパレコウイルス 3 型流行  
石村勝之 山本美和子

公衆衛生情報, 46(11), 13~15, 2017

広島市では、感染症発生動向調査により 2006  
年から2016年までに5回のヒトパレコウイルス 3  
型 (PeV3) の流行をとらえることができた。PeV3 は  
脳炎や髄膜炎、意識障害など重症化することがあ  
り、気を付けなければならない感染症のひとつで  
ある。広島市における PeV3 の概要、同定までの経  
緯、検査経験等について概説した。